

さんわニュース

第2号

通巻2号

平成17年1月20日発行

編集責任者・嶋野 亨

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-4-9 TEL (03)3669-1101(代表) FAX (03)3667-0870 http://www.sanwakizai.co.jp

新年のご挨拶

三和機材株式会社
代表取締役社長 栗田 五郎



明けましておめでとうございませう。

皆様方には、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

お蔭様で弊社も無事に新年を迎えることができ、これも偏に皆様方のご支援の賜物と衷心より感謝申し上げます。

昨年の景気動向は、年初と比べると年末には格段に明るく、大手企業の業績は業種間格差があるものの大きく改善された感があります。この中で建設業界では、大手メーカーの業績の回復、民間の建設工事量の上昇など明るさも見えましたが、弊社にとっては依然として厳しい1年でした。

さて、今年も引き続き政府は構造改革の推進に取り組んでいくところですが、昨年末の平成17年度国家予算の政府案によると、一般

会計で約82・1兆円の規模を予定しており、公共事業関係費は約7.5兆円と平成16年度予算の3.6%減と4年連続の縮減となっております。

また、平成17年度政府予算案の財務省原案では、下水道事業予算内示額は国費で対前年度比5%減の約8280億円となっております。

公共投資の予算も全体が縮小する中で、都市インフラ整備に予算の配分が重点シフトする等の変化は、当社にとっては好ましい面もあると受け止めております。しかし、建設業界としては建設投資が縮小を続ける中で、優劣の様相がさらに一段と加速される1年となるものと思われま

す。市場は常に変化しています。ニーズを先取りした商品を開発し、品質・コスト・納期・ソフトサービス

等において、社会やユーザーに適切かつ迅速に対応できなければ競争には勝てません。

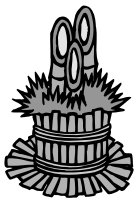
弊社は今年創立50周年を迎えます。変化する市場環境やユーザーニーズに対応していくために、昨年7月にサンワマトロン株式会社と製販の業務統合を行いました。今後とも真に実力ある

企業の体質づくりを進め、皆様のご要請にお応えでき

ますよう、なお一層積極的

に取り組んでまいります。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、本年が皆様方にとりまして幸多き年でありますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



「2004地盤改良セミナー」開催される

JST協会 事務局



去る平成16年12月3日に東京・九段会館において、JST協会の主催による「2004地盤改良セミナー」が開催され、役所、コンサルタント、ゼネコン等約80名の多数の皆様に参加いた

だきました。

折しも新潟中越地震の直後のため、海野先生は中越地震関連に内容を変更しての講演となりました。



■日 時：平成16年12月3日(金)

■場 所：東京・九段会館

■講 演：

①深層混合処理工法に関する性能設計への取り組みについて

北詰 昌樹 独立行政法人 港湾空港技術研究所 室長 (工学博士)

【内容】 真相混合処理に関する現行の設計法を国際基準の

主旨に沿ったものに改定するための検討がなされている。設計の基本的な考え方、安全性照査式、部分安全係数などについての現時点での検討状況の紹介

②中越地震の災害と教訓

海野 隆哉 長岡技術科学大学 環境・建設系 教授 工学博士

【内容】 新潟中越地震の災害の状況と教訓の紹介

③JST工法 (二液瞬結型深層混合処理工法)

日下部 武 JST協会技術委員長・株式会社三東工業社 東京営業所 所長

【内容】 JST工法の概要と施工事例の紹介

*講演内容についてのお問い合わせは、JST協会事務局 (TEL. 03-3669-1101) まで



三和機材ホームページが新しくなりました

平成16年7月三和機材株式会社とサンワマトロン株式会社の業務統合を機に、ホームページをリニューアルしました。製品や会社情報はもちろん、最新ニュース、カスタマー情報、工法紹介などを整備しました。ぜひ一度ホームページをご覧ください。

●ニュース

[ニュース]では、新製品の紹介記事や「さんわニュース」のバックナンバーをご覧いただくことができます(「さんわニュース」はPDF形式でのダウンロードが可能です)。

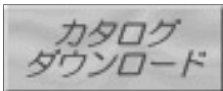
画面は新製品「全周回転式立坑築造機ART-300TE」の紹介記事。



トップページ <http://www.sanwakizai.co.jp>



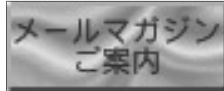
●カタログダウンロード



当社製品カタログをダウンロードしてご覧いただくことができます(登録制)。

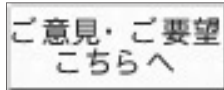


●メールマガジンのご案内



定期的に無料メールマガジンを配信し、業務に役立つ最新情報をお届けします。

●お問い合わせ



当社製品へのご質問はもちろん、ご意見・ご要望がございましたら、お気軽にお知らせください。



業務に役立つ
最新情報が満載です！
定期的にチェックされる
ことをおすすめします!!

●サービス

当社製品をご使用いただいているお客様のために、カスタマー情報とサービス指定工場を紹介。

サービスレター



[サービスレター]をクリックすると、当社製品・サービスに関するカスタマー情報等がご覧いただけます。

サービス指定工場一覧



[サービス工場]をクリックすると、サービス指定工場の一覧が表示されます。

●製品情報

当社製品を工事・工法ごとに分類し、概要やスペック、施工実績などを紹介。[基礎工用機械]、[プラント]、[大口径全旋回掘削機]、[小口径推進機]のいずれかをクリックし、表示される機械名をクリックしてください。

基礎工用機械



[基礎工用機械]の紹介ページ。掲載画面は全油圧小型地盤改良機「アースキッズ」。

プラント



[バッチャープラント]の紹介ページ。[プラント]をクリックしてください。

大口径全旋回掘削機



[大口径全旋回掘削機]をクリックし、機械一覧から、機械名をクリック。掲載画面は「アート工法機」の紹介ページ。

小口径推進機



[小口径推進機]の紹介ページ。掲載画面はエンバイナー工法機「サンライナー」。

●会社情報

[会社情報]では、当社の「概要」、「沿革」、「工場紹介」、「設備紹介」、「特許情報」、「募集要項」がご覧いただけます。

概要



[概要]をクリックすると、当社の会社概要がご覧いただけます。

沿革



[沿革]では、建設機械の歴史ともいえる当社創立期から今日までの足跡をご紹介します。

工場紹介



[工場紹介]をクリックすると、当社千葉工場・成田工場・大阪工場の概要が表示されます。

設備紹介



[設備紹介]では、当社の工場内設備をご紹介します。また、[工作機械の特徴はこちらへ]をクリックすると、各工作機械の特長が表示されます。

特許情報



[特許情報]では、当社がこれまでに取得した特許件数の推移、および現在取得に向けた活動状況がご覧いただけます。

大口径φ3000、大深度・立坑深17・3mを 横浜で施工!

株式会社ハシックス 代表取締役社長 橋本 行男

■施工概要

平成16年7月に施工したアート工法による大深度施工工事についてご紹介申し上げます。現場は神奈川県横浜市です。

土質は、GL-2mまでがN値10以下の礫混じり砂、

GL-4・65mまでがN値35以下の砂礫、GL-11mまでがN値10以下のシルト、シルト混じり砂、GL-11m以深がN値50以上の泥岩で、水位がGL-1・98mの地盤です。立坑深は17・3mで、ケーシングは鋼製ケーシングφ3

000(径)×22mm(厚さ)、先頭ケーシングが0.8m×1、中間ケーシングが2m×8本、最終ケーシングが1.3m×1本です。立坑深17・3mの施工は、今まで経験のない大深度施工であり、土質が上部

先頭ケーシングの刃先部は、超硬ビットを48本使用し内外径部をオーバークットしたところ、掘削トルクに余裕がありエア配管は使用しませんでした。また、岩盤の内部掘削はオーバークットのかいがあつてか用意した水中ブレイカを使用する必要なく、クラムシエールで掘削でき順調に施工できました。

施工上はケーシングの芯ずれに注意を払って掘削圧入を行い、他の立坑深6mの計2基を含め約10日間で

工事は大変スムーズに完了し、大口径・大深度施工につき自信を深めたところで今回のような中口径推進の到達立坑としての用途は多く、当社としては今後とも取り組んでいく方針です。

■工事概要

◇工事名：下水道再整備工事

◇工期：平成16年7月20日～30日

◇場所：神奈川県横浜市

◇地質：GL-2mまでがN値10以下の礫混じり砂、

GL-4・65mまでがN値35以下の砂礫、GL-11mまでがN値10以下のシルト、

シルト混じり砂、GL-11m以深がN値50以上の泥岩

◇水位：GL-1・98m
◇管材：鋼製ケーシングφ



写真-2 本体設置



写真-1 トレーラ搬入



写真-4 先端ケーシング滑材注入工



写真-3 先端ケーシング硬質ビット付



写真-6 排土

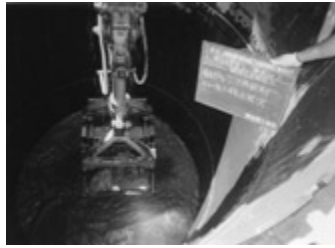


写真-5 ケーシング内部掘削

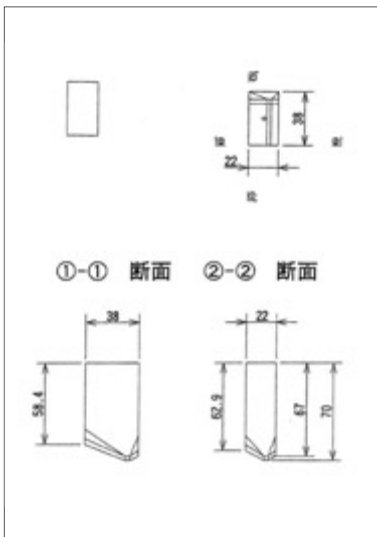


図-4 硬質ビット詳細図

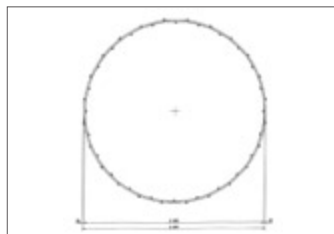


図-2 φ3,000鋼管ケーシング硬質ビット取付図

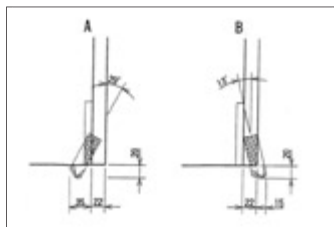


図-3 ビット詳細取付図

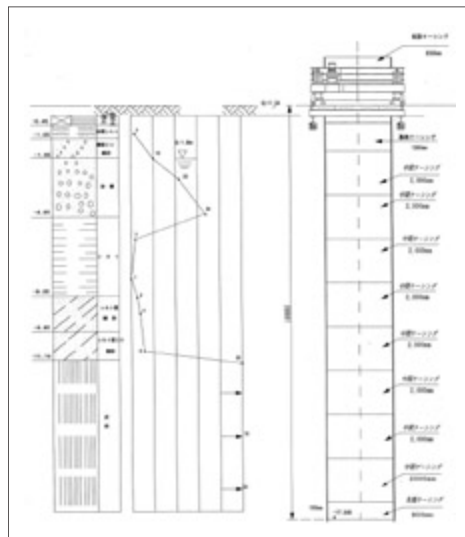


図-1 No.3立坑ケーシング割付図

3000(径)×22mm(厚さ)
立坑深：17・3m、6m
機種：ART-300T

E型
施工：株式会社ハシックス